

延岡市社協だより

ふれあいネットワーク

みてみてふくし



絆

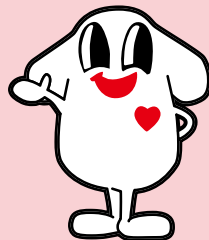


イオン社会福祉基金 福祉車両贈呈式



笑顔

活動



みんなでつくろう 支え合う地域社会

社会福祉法人 延岡市社会福祉協議会

本 所：〒882-0842	延岡市三ツ瀬町1-12-4	電話 32-6555	Fax 35-5863
北方支所：〒882-0125	延岡市北方町川水流卯1420	電話 47-3294	Fax 47-2317
北浦支所：〒889-0301	延岡市北浦町古江2433-1	電話 45-2427	Fax 45-4101
北川支所：〒889-0101	延岡市北川町川内名7226-4	電話 46-2123	Fax 46-3016
ホームページ・アドレス http://www.nobesha.net		メール・アドレス info@nobesha.net	



祝 延岡市社会福祉センター開館30周年

延岡市社会福祉センターは、地域福祉並びに在宅福祉サービス活動の拠点として昭和60年7月に開館し、市民の皆様のご理解とご協力に支えられ、本年で開館30周年を迎えました。

この間、昭和61年に現在の天皇皇后両陛下が延岡市に行幸啓の際、当センターへのご訪問をはじめ、「ふくしバザー」の開催など様々なシーンで歴史を刻んでまいりました。

今後も地域の身近な活動拠点及び福祉情報の発信拠点として、教育研修や会議、各種相談や憩いの場など多目的な活用ができる様な運営管理に努めてまいりますので、更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



延岡市社会福祉センター落成式
(昭和60年)



現在の天皇皇后両陛下
御来延時の様子(昭和61年)



延岡市社会福祉センター正面

第37回

延岡市社会福祉大会を開催

8月8日(土)に延岡総合文化センターで、第37回延岡市社会福祉大会を開催しました。市長表彰27名、社会福祉協議会会長表彰個人54名、グループ9団体、延岡市共同募金委員会会長感謝45地区に賞状が授与され、福祉啓発作文の入賞児童生徒6名が表彰されました。

九州保健福祉大学 社会福祉学部 教授 井上孝徳氏より「福祉でまちづくり“地域の底力”」と題してご講演いただきました。



井上 孝徳氏



福祉啓発作文入賞者

福祉啓発作文

小学生の部 最優秀賞

『相手の気持ちを考えて』

北浦小学校 5年 田中 あさみ たなか

わたしは、七人家族です。父、母、祖父、祖母、わたし、妹、そしておじです。七人もいるので、毎日とてもにぎやかです。特に食事の時は、食べることも忘れるぐらい、話がはずみます。そんな大好きな家族の中のおじをしょうかいたしたいと思います。

おじは、目が不自由です。生まれたときから、見えなかったそうです。わたしは、小さいころからおじといっしょなので、いろいろなことを考えてきました。例えば、トイレやお風呂のことです。どうすればトイレの水が流れるか、どこにシャワーがあるのか、温度は大丈夫か、などです。わたしたちにとっては、見てはんだんすればいいことも、おじにとっては、小さなことも全部おぼえなくてははいけません。本当に大変なことです。

この前、おじが出かけるというので、わたしもいっしょに行くことにしました。近所だったので、三人で歩いて出かけました。わたしがおじの少し前を歩きます。おじはわたしがのかたに手を乗せて、少し後ろから歩きます。わたしは(これぐらいの速さでいいかな)と考えながら歩きます。ちゃんと、買い物ですませて帰ってくると母が「お母さんは、はじめのうち、どうやって案内すればいいかわからなかったのに、あさみは、すごいね。」とほめてくれました。でも、反対にわたしはおじのおかげで、目の不自由な人に対して、どのように接していけばよいかを学ぶことができるんだなあ、と感じています。それは、自分が同じ立場だったらどうしてほしいかを考える習かんが身についてきたなと感じるからです。

わたしは、目の不自由な人だけでなく、いろいろな人の立場に立って、相手の気持ちを考えて行動できるようになりたいなと思っています。

夏休みボランティア体験

“はらはら、わくわく” 北川・ストーンウォッシュ大作戦

7月31日に北川町の河川で、小中学生29名が参加し、鮎の餌となる珪藻・藍藻などの藻を付きやすくするために川底の石を磨く環境保全ボランティア体験を行いました。当日は、箱めがね作りに始まり、鮎の串づくり、鮎焼き、水生生物調査など北川の夏満載の一日を過ごしました。



ご協力をいただいた「延岡市食生活改善推進委員北川班」、「日赤奉仕団北川分団」、「さんさんクラブ北川連合会」、「北川漁協」の皆様ありがとうございました。

海を満喫しようin北浦

7月28日～29日にかけて、北浦浜木綿村キャンプ場を主会場に小中児童生徒を対象にしたボランティア体験を実施しました。



参加した41名の児童生徒は、ハンディキャップ体験や海浜清掃、サザエの殻を使った廃油キャンドル作り、クーリングなど自然とふれあいながら楽しい2日間を過ごしました。

参加者コメント



こだま ひでとし
児玉 英寿さん(南中3年)

アイマスク体験では、目が見えない人の大変さや怖さを体験することができました。これからは目の不自由な人が困っていたら助けてあげたいと思います。



かい あやね
甲斐 絢音さん(延岡小6年)

目の不自由な人についてよく理解できたので、これからは助けてあげたい。男子となかなか話することができなかったけど、協力してカレーづくりができたのが良かった。

福祉啓発作文

中学生の部 最優秀賞

『福祉、私に出来る事』

南中学校 2年 松田 瑠亜

私は小学校三年生から、母と障がい者の自立支援を目的としたキャンプに毎年ボランティアとして参加しています。初めは母が私に「キャンプに行ってみようか」という一言から始まりました。

初めてついて行った私は、障がいのある人達になれるのに時間がかかりましたが、話をしたり、一緒に食事を作ったり、食べたりする中で、私と何も変わらない。それどころか逆に自分が元気をもらっているのを感じました。参加している人達はみんなとても素直で元気な方達ばかりで、初めて参加した私の不安はすぐなくなりました。私に話しかけてくれる人、みんなとても素敵な笑顔で私に接してくれました。このキャンプには、障がいのある人達だけではなく、それを支えるボランティアの方々や家族の方々も多く参加しており、さまざまな職業の人達が、それぞれの特技を生かしており、支え合いの大切さも毎年考える良い機会になっています。私も私の出来る特技を生かして、食事作りをメインにがんばっています。

今までは障がいのある人たちと私は、何か違うというはっきりとした思いがありましたが、このキャンプを通して、自分の中に少なからず偏見があったことも感じています。そして、このころから私は誰にでも優しく接することを心がけるようになりました。

このような出来事から、私に出来ることは何かを考えました。人は、十人十色、みんな違ってみんないいという言葉の通り人それぞれ個性があり、歩くのが少しにがてな人、手が少し上手に動かせない人さまざまですが、みんなこの社会の一員であることには変わりありません。

私の周りの友達やクラスの人達にも、障がいのある人達は自分達と何も変わらないし、それどころか負けている所もあることを伝えて行き、ボランティアの輪を広げていきたいと思っています。

ボランティアといっても色々なことがあると思うので、福祉について勉強して今まで知らなかったことについても知識を深めていきたいと思っています。そしてこれからも色々なボランティア活動を継続し、勉強もがんばり、健常者でも障がいのある人でも偏見なく支え合える、みんなが住みやすいよりよい社会作りへ少しでもこうけん出来るような仕事につきたいと思っています。

今年もまた、参加しますが、一緒に初めて参加してくれる友達にも私の感じた思いを感じてもらい、また、参加してくれる友達を一人でも増やして、その友達の思ったことなども、聞いてみたいと思います。諸塚の大自然の中でたくさん笑顔と出会い、自分自身の心もみがきたいと思っています。

赤い羽根共同募金が始まります！



期間:10月1日～12月31日

皆さまから寄せられた募金は、地域の福祉のために役立てられます。今年も皆さまの温かいご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年度目標額:17,992,000円



共同募金の
仕組みについて



延岡のまちを良くするために！

《募金の使われ方》

平成26年度延岡市内で集められた募金総額は

11,542,799円 となりました。

この募金は、宮崎県内全域の福祉のために 7,992,000円使われ、

延岡市内の福祉のために 3,550,799円 使われます。

平成26年度に集められた募金は、平成27年度に各種団体が実施する事業へ助成され、有効に使われています。



例えば…

障がい児・者福祉活動事業

- ・出してみらんげ事業
- ・くろしお杯争奪卓球大会事業
- ・宮崎県障がい者スポーツ大会参加事業
- ・聴覚障がい者社会参加支援事業
- ・保護者の会活動事業
- ・北方町身体障がい者福祉活動事業
- ・手をつなぐ育成会本人部会育成事業
- ・延岡卓球バレークラブ事業

住民全般対象事業

- ・更生保護活動への参加協力事業
- ・地区別交付金事業
- ・延岡市赤十字奉仕団事業
- ・古切手収集・整理・発送事業
- ・のべおかふれあい福祉まつり事業
- ・障がいを持たれた方々とのボランティア体験ツアー事業
- ・手話サークル活動推進事業
- ・延岡市民生委員児童委員協議会研修事業
- ・地区社会福祉協議会助成事業
- ・広報紙「みてみてふくし」発行事業
- ・指定地区社会福祉協議会による地域福祉推進事業



児童・青少年福祉活動事業

- ・ボーイスカウト活動事業(青少年育成事業)
- ・母と子のふれあい事業
- ・里親制度普及促進事業
- ・子育てサロン事業



老人福祉活動事業

- ・地区敬老助成事業



香典返し・一般寄付・物品寄付のご提供、ありがとうございました。

平成27年6月1日から平成27年7月31日までに次の方々からご寄付・ご寄贈がありました。心からお礼を申し上げます。
(個人情報保護法に基づき、了承を得た方のみ記載させていただいております。)

香典返しは

社会福祉協議会へ

社会福祉事業に役立っています。



◎香典返し寄付

※敬称は略させていただきます

芳名	故人	住所	金額(円)	芳名	故人	住所	金額(円)
本所受付				北方支所受付			
佐郷和典	母・ヤス	桜ヶ丘	金一封	山内清一郎	母・トシ子	笠下	金一封
白羽根裕子	夫・健二	小川町	30,000	甲斐廣一	妻・富子	曾木	20,000
副島恭子	夫・義信	大貫町	50,000	村田治子	夫・悟	菅原	金一封
平塚富喜子	夫・几	赤水町	20,000	佐藤信夫	母・カメノ	笠下	金一封
早瀬千寿子	夫・弘秋	春日町	50,000	花畑壽人	母・カズコ	北一ヶ岡	30,000
猪須美任	妻・富子	伊達町	30,000	北浦支所受付			
黒木茂高	母・たつ子	三ツ瀬町	金一封	川岸敏浩	母・トミ子	市振	金一封
有山清美	母・繁子	川原崎町	30,000	玉田マキ子	夫・靖則	宮野浦	30,000
石飛友子	夫・民夫	富美山町	金一封	木原和雄	妻・武子	古江	金一封
三浦勝之	母・シゲ子	沖田町	20,000	山本マス子	夫・城市	宮野浦	100,000
甲斐丸司	母・アサノ	富美山町	20,000	奈須一道	父・達男	三川内	50,000
川越良平	妻・幸子	塩浜町	金一封	北川支所受付			
松崎哲也	母・照子	無鹿町	20,000	工藤力男	子・ヒナ子	長井(本村)	30,000
森迫文子	夫・公昭	出北	50,000	◎一般寄付			
山下久志	母・ヒサ子	大貫町	30,000	団体・個人名		金額(円)	
岩切スマ子	夫・勇藏	塩浜町	30,000	本所受付			
富山仁美	父・富則	野地町	50,000	河野 義一 (中島町)	10,000		
津隈良功	子・定之	野地町	金一封	吉井 泰俊 (須美江町)	10,000		
今井典子	夫・清治	山月町	金一封	表千家 県北地区清風会	30,000		
				延岡高校昭和48年卒第25回生	15,000		
				延岡磯研	35,000		
				北川支所受付			
				延岡道路・北方延岡道路開通民間イベント協議会	7,325		

～ 感謝 ～

7月10日、イオン社会福祉基金様より福祉車両を贈呈いただきました。イオン社会福祉基金様が全国に贈呈された福祉車両は、今回で54台目となり宮崎県では初めてとなります。これから障がい福祉推進のために移送サービスの車両として活用させていただきます。

ありがとうございました。

イオン社会福祉基金とは・・・

全国の障がい者の自立と社会活動への参加を促進し、障がい者福祉の向上を図ることを目的に毎月従業員と会社からそれぞれ50円、1人あたり合計100円が積み立てられ、主に「ボランティア活動」と「福祉車両の贈呈」の活動が行われています。

ふれあい福祉相談(無料)

・ふれあい相談(なんでも相談)

相談日:月・水・木・金曜日(9:00～17:00)

火・土曜日(10:00～15:00)

(日曜・祝日の相談はお休みになります。)

会 場:延岡市社会福祉センター(三ツ瀬町)

・無料法律相談(相談を希望される方は予約が必要です。)

本 所: 9月17日(木)10:00～15:00

10月15日(木)10:00～15:00

北方支所: 9月16日(水)13:00～16:00

北川支所:10月21日(水)13:30～16:30

問い合わせ先:本所・各支所へご連絡ください。